



平成 29 年度 佐野小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



12月13日（水）に開催された「平成29年度佐野小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成29年12月13日（水）19:00～20:45		
会 場	北上文化プラザ		
参加団体 (23名)	佐野自治会 見晴台自治会 伊豆佐野保育園 公立保育園父母の会 佐野小学校 佐野小学校PTA	北上中学校 スクールガード 佐野小学校支援地域本部 佐野子ども会 見晴台子ども会 環境美化推進委員会	スポーツ推進員 保健委員会 民生委員・児童委員 北上地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の取組み事例紹介」
- 3 「地域の情報を共有しよう」
- 4 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 5 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

同じ小学校区内で活動する団体の行事や活動の予定等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の年間スケジュール表を作成しています。第2回連絡会では、第1回連絡会后にいただいた予定等も追加して、参加者に配布しています。

■主な情報共有の内容

団体	情報の概要
見晴台自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・降雪時に子どもが安全に登下校できるように見守っていきたいです。 ・7年前にボランティア団体「やじうまクラブ」を立ち上げました。花だん整備、見守り、交通安全、防犯のための活動をしています。 ・ゴミ出しのルールが変わって、徹底できていないので、他の地区の様子を知りたいと思います。 ・主な行事は、どんど焼き、夏祭り、文化祭、敬老大会などで、多くの方が参加してくれます。 ・市から70坪の農園をお借りし、甘藷、玉ねぎ、じゃがいもなどを作っています。普段の作業の時は参加者が少ないですが、収穫の時はたくさん子どもたちが参加して、収穫したものを持って帰ります。
伊豆佐野保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも地域の方のご協力、ありがとうございます。児童数54名の小さな園ですが、今後ご協力よろしくお願ひします。
佐野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・さのっ子学習（地域人材・地域教材を使った学習）などで、地域の方々にお世話になっています。これからも小学校の活動へのご協力をよろしくお願ひします。
佐野小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・7/29のPTA防災キャンプでは、中学生がボランティアで運営を手伝ってくれました。ありがたかったです。ただし、ボランティアで参加してくれた中学生に証明書の渡し漏れがあったので名簿をもらえると幸いです。 ・中学校から中学生にボランティア参加を呼び掛けてくれると助かります。
北上中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、学校のブログを更新しているので、見てください。 ・見晴台の訓練で、消火栓のチェックなど、中学生の役割を作ってくれてありがたかったです。 ・北上中は下校時刻や行事に関する親からの問い合わせが多いので、親子や親同士の会話を増やしていただきたいです。 ・1/12の13:40から、防災の専門家に話をさせていただきます。学校の防災マニュアルの見直しも考えています。地域の方もぜひ来てください。 ・自治会や地域の団体がボランティアの募集をしたい時には、情報をいただければ名簿を作って渡せるとお願ひします。

団体	情報の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・花だんボランティアに登録していただければ、登録者に花壇整備等に関する連絡が届くようにしますので、登録をお願いします。
佐野小学校 支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> ・11/18の佐野っ子まつりの時に、小学生を支援する団体が集まり、お互いに情報交換しました。今後も各団体と協力していきたいです。
見晴台子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ・残りの行事も子どもたちと楽しくやっていきたいです。
スポーツ推進員	<ul style="list-style-type: none"> ・トリム教室の手伝いなどをしています。 ・個人的な経験から、防災訓練の時に応急手当の指導をしました。
三島市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・12/19に「新しい地域支援を考えるフォーラム」を開催します。地域の居場所づくりなどに関心のある方はぜひお越しください。

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
2月6日	北上中学校	■私立高校入試(学校お休み) (~7日)
3月6日	北上中学校	■公立高校入試(学校お休み) (~7日)



避難場所である佐野小で避難所運営訓練をする。

現状の確認

- ・地域責任者が、今まで小学校まで何分分かるか確認していた
- ・運営の対策会議はしている
- ・佐野小で2回の訓練をした。3~4回目は夜間訓練の予定だが、子どものキャンプや大人の訓練が必要

やっていない理由は？

- ・佐野地区役員（組織）の自覚がない
- ・本部役員が毎年変わる（佐野）
- ・組織団として合同は無理

確認したいこと

- ・佐野小には自噴水があったが、トイレ用の水として使うことができるか？
- ・伊豆佐野保育園は佐野小が避難場所になっているが、どんな協力ができるか？実際に佐野小のどこに避難したら良いか？

どんな方法ならできそうか？

- 時期
 - ＜初期対応と避難所訓練は分けて考える＞
 - ・発災初期の対応と避難所運営は別に考えるべき。初期対応は町内会で一次対応
- 主催者・協力者
 - ＜消防団に協力してもらう＞
 - ・消防団の誘導が適切であった
 - ・消防車のサイレン放送が効果的
- 参加者
 - ＜多くの人に参加してもらうことが重要＞
 - ・組長、役員だけではなく、多くの人に参加して貰う
 - ・多くの人に参加してくれれば、いざという時の知識を持った人が増えていいと思う
- 内容
 - ＜やることを絞る＞
 - ・check off List を全て実行しようとしても無理。状況に応じてList を選択すべし
 - ・防災訓練は、項目を全て網羅するのではなく、1つ1つ訓練目標を定めるべき
 - ＜ルール作りを地域ごとに＞
 - ・避難ルールを明確に訓練する
 - ＜様々なケースを想定した訓練＞
 - ・日中等は男手が不足し、女性中心となる等
 - ・女性、高齢者がそれぞれにできることを考える
 - ・消防団をあてにしない訓練

実施に向けた課題

- ＜収容人数の問題＞
 - ・多くの方が集まったの訓練が難しい（体育館収容人数150人程度）
 - ・見晴台は千名位で多いので難しい
- ＜マニュアル通りにいかない＞
 - ・子ども達が学校に居る時に災害が起ると対応が困難
 - ・市の広報は聞き難い
 - ・身体不自由者の手助けの手順
 - ・指揮をするリーダーが誰か
 - ・防災の組織図は出来ているが機能しない
- ＜その他＞
 - ・互いの名簿を確認する必要あり
 - ・定期的な話し合い必要

どんなことならできるか？

- 【発災後1~2日目（各地区）】
 - ・市と連絡をとる本部が必要
 - ・佐野、見晴台の本部を立ち上げる
 - ・2つの地区の組織をしっかりと
 - ・見晴台はまず公民館へ避難
- ＜訓練内容＞
 - ①夜間の訓練の実施
 - ②3回目以降は、より多くの参加者で実施する
 - ③毎年新しい訓練を取り入れる
- 【発災後3日目～（避難所）】
 - ・3日目からの組織づくり
 - ・北上中では芙蓉台地区の組織図だけ
- ＜避難所運営訓練＞

- どうしたら人が集まるか ⇒ 全員の意識を高める必要がある
 - ・HUGを実施し、参加を呼び掛ける
 - ・マンネリ化しない
 - ・食べる物の提供が必要
 - ・ゲームから入ってもよい
 - ・参加する意識が高くなるようにする（防災訓練の必要性を強くアピール）
 - ・中学生を中心とした人集めをやれば親や近所に呼びかけしやすいのでは？
 - ・放送、回覧板、掲示物等利用して多面的広報活動で集める
 - ・各世代から集めるためにそれぞれの役割をもってもらおう（高齢者・若者等）

佐野の神社のお祭りに見晴台の子どもを招待したい、見晴台の夏祭りに佐野の子どもを招待したい。また、自治会も協力する。

目的 ●佐野と見晴台の交流 ●佐野と見晴台の互いの良いところを共有

お祭りでの交流の現状

- <見晴台の夏祭り>
 - ・開会式の前に「子どもは地域の宝事業」の記念品を贈呈
 - ・ボランティアで高校生がアナウンスする
 - ・子ども会が神輿の飾りつけをする
 - ・見晴台の夏祭りは近代的な祭り。
 - ・お神輿 4 台が町内を練り歩く
- <佐野のお祭り>
 - ・歴史がある。質素に地味に続けてきた。
 - ・10 年程前は PTA で見晴台の子が参加したが、続かなかった
 - ・伝統的な祭りを見晴台の子どもに見せてあげたい
 - ・派手にやらず、静かに祭りをやりたい
 - ・神社の境内が狭いので、人が来て入りきれない
 - ・衛生面の問題で食品を取り扱うことが困難
 - ・会場や駐車スペースが狭く、見晴台の方に十分なおもてなしができず心苦しく思っている

課題

- <おもてなし不足>
 - ・昨年、招待した佐野の子をおもてなしができなかった
- <駐車場不足>
 - ・見晴台夏祭りで駐車場不足 ⇒ 駐車場は確保できる
- <継続が難しい>
 - ・子ども会の役員が 1 年毎に代わるので継続できない

今年の夏祭り

- ・佐野の子ども 30 名が参加した
- ・チケット 200 円 + 飲み物を用意
- ・駐車場は心配不要だった (足りた)
- ・中学生ボランティアが役に立った

改善策

- ・佐野の子どもに見晴台夏祭りを喜んでもらえるよう工夫する
- ・駐車場はある
- ・有志で父兄が出店を出すよ
- ・本来は自治会同士で交流すべき

まずできそうなこと

- ・自治会で夜店を出店する (赤字覚悟の値段)
- ・子ども達の楽しむまつりにしたい
- ・やりたい屋台 (じゃがバターなど) をリクエストしてほしい
- ・祭りだけではなく、廃品回収などやってくれているので見返りがある

自治会レベルの交流

- お祭り以外でも交流したい
 - ・見晴台自治会は、祭り以外の行事にも佐野の子に来てほしい
- 情報共有が大切
 - ・情報の啓蒙が少ない
 - ・お互いの情報を交換・PR する回数が少ない
 - ・佐野の祭りの情報が見晴台に伝わりにくい。伝統行事は、部外者的な扱いなのが気になる

●情報交換してみる！

- ・年度初めに、決定している範囲の年間スケジュール表を交換する
- 子ども会同士は情報共有 OK
 - ・子ども会同士レベルでは情報 OK
- 行事の PR をまめにする
 - ・回覧回数を増やす

・小学校や JA の駐車場を使えば解決するので、使えるよう自治会から願います。

小学校では、さのっ子学習で、佐野と見晴台のお互いの良いところを学んでいる！

子ども会の現状

- ・見晴台は市外から来た人達の集まり
- ・見晴台子ども会は月 1 回親子で廃品回収をする。各戸に回収に来てくれる

改善策

- 自治会と相談し、引き継ぐ
 - ・子ども会単独では難しいので自治会に相談して！
 - ・子ども会の会長が引き継いでいく事が重要